

# 薬剤部だより No.217

山口大学病院薬剤部 2008.2.20



## 病棟の麻薬、向精神薬、毒薬の管理状況を確認します

施錠管理が必要な麻薬、向精神薬、毒薬の管理状況を確認するため、薬剤師が定期的に病棟に伺いますので、ご協力お願い致します。直近の訪問日は3月上旬を予定しています。また、麻薬保管庫の鍵の管理は病棟医長の代表者、カードキーは病棟医長となっていますので、今一度ご確認ください。

## 院内製剤の払い出しには時間を要することがあります

院内製剤は市販の製剤にはない先進的医療等に供される当院独自の製剤です。調製後の力価低下・汚染防止の観点から、依頼の都度調製が必要なものも多く、時間を要する場合があります。外来患者に対して処方される際には、その旨を患者にお伝え頂きますようお願いいたします。また、17時30分以降及び土曜日は調製できないため、入院患者についても出来る限り早い段階に処方してください。

## ヘパリンナトリウム注 1万単位を患者ごとに払い出します

病院機能評価 Ver.5 の薬品管理の項目において、「ヘパリン」はハイリスク薬剤に分類され、適切な管理が義務づけられています。これに伴い、「ヘパリンナトリウム注」は5000単位製剤(アンプル)に加え、2月21日(木)以降は1万単位製剤(バイアル)も薬剤部から処方単位で払い出す予定です。「ヘパリンナトリウム注」は2種類の規格が存在しますので、取り扱う際には規格にご注意ください。なお、1万単位製剤の病棟在庫数を変更する場合は、注射調剤室(2724)へご連絡ください。

## エトスクシミドの血中濃度測定を中止

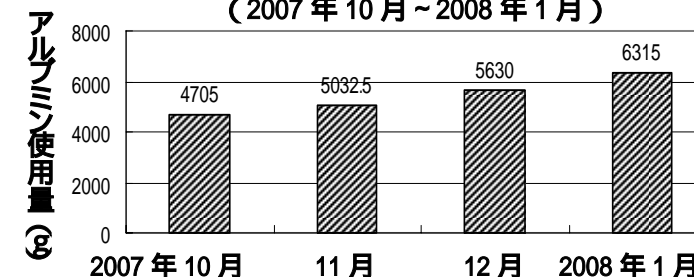
抗てんかん薬「エトスクシミド」(当院常備薬:ザロンチン)の血中濃度測定に使用する試薬が販売中止となりました。したがって、院内での「エトスクシミド」の測定を中止します。やむを得ず測定が必要な場合は、外注対応となりますのでご了承ください。

## 院内副作用情報の報告はDIセンターへ

当院医薬品集に記載(p.33)があるように、院内で医薬品・医療機器の使用による副作用、感染症又は不具合を発見した場合は、DIセンター(2668)へ報告することになっています。「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度」に基づき、副作用情報を、DIセンターで一元化して厚生労働省へ報告しますのでよろしくお願い致します。

## アルブミン使用量が増えています

アルブミンの使用量は月平均約5000gで推移していましたが、ここ数ヵ月上昇傾向にあります。輸血管理料取得等、病院経営に影響を与えるため、適正な使用をお願いします。



## 緊急購入薬の申請が月平均30件

緊急購入薬(当院常備ではない薬剤)の申請件数は、今年度では、月平均30件にも昇り、品目数は4月から2月20日現在までに90を数えています。緊急購入薬は、常備薬では治療困難な場合の緊急手段であり、安易な使用は望ましくありません。できる限り常備薬で対応してください。

## ドパミン作動性抗パーキンソン薬の薬袋メッセージを追加

ドパミン作動性抗パーキンソン薬(当院常備薬:カバサル錠、ピ・シフロール錠、パ・ロデル錠、ペルマックス錠、レキップ錠、マドパー錠、メネシット錠)において、前兆のない突発的睡眠または傾眠等により自動車事故を起こした例が報告されています。処方の際は、患者さんに注意喚起をお願いいたします。また、これに伴い、薬袋に「服用中は車の運転等危険な作業を避けること」のメッセージを追加しました。

## 製造販売元変更のお知らせ

「リマクタンカプセル」の製造販売元が、平成20年4月1日から、ノバルティスファーマからサンド株式会社に変更されます。

## 削除薬のお知らせ

「インプロメン錠 1mg」、「ランデル錠 10mg」、「タンボコール錠 100mg」及び「5-FU 軟膏」の在庫がなくなったため、オーダより削除しました。

## 春季学生実習が始まります

薬剤部では、薬学部3年次終了(予定)者を対象に、春季学生実習を開始します。

実習期間:平成20年2月25日(月)~平成20年3月21日(金)

実習生:7名

医療の担い手として社会に貢献できる薬剤師を目指し、臨床現場を体験しにやってきました。服薬指導などで病棟を訪れる機会もあろうかと思いますが、その節はよろしくお願い致します。